

予備自衛官補としての使命

埼玉地方協力本部は七月三日、大宮駐屯地において平成二十八年予備自衛官補辞令書交付式を実施した。

辞令書交付式には平成二十八年度採用者のうち技能公募四名、一般公募三十一名の合計三十五名が参加した。本部長から参加者一人一人に辞令書が手渡されると予備自衛官補としての使命感と今後の教育訓練に励む意気込みが伝わってきた。

初めは緊張と不安で固くなっていった参加者も教育訓練招集における営内生活や訓練内容等について担当者から具体的な説明を受けるとその不安も解消された。また、予備自衛官補を志願したそれぞれの想いを語り合つと、笑顔も垣間見られる和やかな一面も見られた。

今後は、仕事や学業など個々のライフスタイルに合わせて教育訓練に臨むことになるため、今回参加した三十五名が一同に会することは難しいかもしれないが、同期の絆を大切にして予備自衛官補の使命である「予備自衛官」を目指して教育訓練を修了することを願っている。



防災訓練で自衛隊をPR

自衛隊埼玉地方協力本部は、九月一日（木）さいたま新都心周辺で実施された九都県市合同防災訓練に参加し広報ブースを開設した。訓練はさいたま市を震源とする震度六強の地震が発生。地震の規模はマグニチュード七・三。市内全域に被害が発生し、建物の倒壊、交通網の寸断、多数の負傷者が発生しライフラインにも甚大な被害が発生するとの訓練想定で実施された。主会場の三菱マテリアル(株)隣接地では一三七の機関が参加し救出救護訓練、炊き出し訓練等が行われた。

自衛隊埼玉地方協力本部の広報ブースでは、災害派遣のパネル展示及び災害派遣活動を紹介するDVDで自衛隊の災害派遣活動をPRした。来場者からは「いつもありがとう。」など激励の言葉を頂いた。また、広報ブースを飛び出して自衛官募集のチラシを配布するなど積極効果的な募集広報活動を実施した。

埼玉地方協力本部は、今後も各種イベントに積極的に参加し自衛隊の理解を深めるとともに自衛官の募集にも繋げていく所存。

